

第39回日本化粧品学会 プログラム

- 日 時：2014年6月5日（木），6日（金）
場 所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel.03-3284-0131
交 通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩 1～2分
主 催：日本化粧品学会
協 賛：日本化粧品工業連合会，学校法人東海大学総合研究機構
会 頭：小澤 明（東海大）
副 会 頭：藤原延規（マンダム）
大会参加費：会 員（事前）：10,000円，会 員（当日）：12,000円
：非会員（事前）：13,000円，非会員（当日）：15,000円
：学 生（当日のみ・要旨集込）：2,000円（要学生証提示）
懇 親 会：2014年6月5日（木）18：00～ 会費 8,000円
会場 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
参 加 予 約：Web 受付 <http://www.jcss.jp/>
2014年4月初旬開始 ～ 2014年5月7日（水）締切
問 合 せ 先：日本化粧品学会大会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel.03-5389-6496 Fax.03-5227-8632
E-mail.jcss-desk@bunken.co.jp

メインテーマ：『化粧品学のビジョンとミッション』

～安心・信頼の更なる向上を目指して～

2014年6月5日（木） 1日目

- 9:30～ 9:35 開会挨拶 会頭 小澤 明（東海大）
9:35～ 9:50 会頭講演 座長：藤井まき子（昭和薬大）
「期待される化粧品とは？～研究室から夢をめざそう～」
小澤 明（東海大）
9:50～10:30 一般研究演題（I） 顔面解析 3題（発表8分，質疑4分）
座長：常深祐一郎（東京女子医大），小出千春（コーセー）
R01 顔面の加齢性変化に関する基礎的検討 - 鼻唇溝に対する解剖学的・画像診断学的分析 -
○奥田逸子^{1,2}，秋田恵一³，藤代 瞳³，白壁征夫⁴，中島康雄²
（¹国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ，²聖マリアンナ医科大・放射線医，³東京医科歯大・臨床解剖，⁴サフォクリニック・美容外科）
R02 顔面の加齢性変化に関する画像診断学的検討
- 顔面表在性筋膜 Superficial Musculoaponeurotic System（SMAS）のCT画像解析 -
○阿部克弘¹，奥田逸子²，中島康雄³，藤代 瞳⁴，秋田恵一⁴
（¹国際医療福祉大学三田病院・放射線，²国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ，³聖マリアンナ医科大・放射線医，⁴東京医科歯科大・臨床解剖）
R03 日本人一卵性双生児における顔老化の客観的評価と関連する環境因子
市堀涼子^{1,3}，○新垣健太²，鳥居宏右²，金澤成行¹，細川 瓦¹
（¹大阪大・医，²ノエビア・グループ総合研究開発，³大阪大・ツインリサーチセ）

10:30～11:20 一般研究演題 (II) 表皮、乾燥肌 4 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)
座長: 徳留嘉寛 (城西大), 田中 浩 (日本メナード化粧品)

- R04 表皮の最終分化における核の分解 (脱核) には複数の経路が関与する
○宮井雅史¹, 山本-田中真実^{1,2}, 牧野輝彦³, 本山 晃¹, 坪井良治², 日比野利彦¹
(¹資生堂・リサーチセ, ²東京医科大・皮, ³富山大院・医薬・皮)
- R05 収縮的物理事刺激による表皮細胞からの炎症性因子産生に関する研究
○生野倫子, 楊 一幸, 竹内啓貴, 五味貴優 (ポーラ化成工業・横浜研)
- R06 冬季乾燥性皮膚の掻痒感発生メカニズムについての提案
○森 亮太, 西川功征, 松崎和貴, 水谷多恵子, 岡野由利, 正木 仁 (東京工科大・応用生物)
- R07 高皮脂洗浄能を有する洗顔料の乾燥肌に対する影響検討
○横井 彩¹, 遠藤浩二², 宮木正廣², 松尾恵子², 野澤一美³, 眞鍋 求¹, 高木 豊²
(¹秋田大・皮膚科・形成外科, ²花王・研, ³インターフェイス)

11:20～12:50 昼休み (90 分)
『企業展示をご覧ください』

12:50～13:55 一般研究演題 (III) 太陽光と皮膚、安全性 5 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)
座長: 渡辺晋一 (帝京大), 横山浩治 (ポーラ化成工業)

- R08 新規に開発した照射装置を用いた近赤外線 of 皮膚に対する影響の基礎検討
○竹中祐子^{1,2}, 秋元賀子², 田中志保^{2,3}, 平山真奈^{1,2}, 常深祐一郎¹, 田中洋平⁴, 川島 眞¹, 堀岡義彦⁵, 平松泰成⁶, 池川信夫⁷, 佐藤 隆² (¹東京女子医大・皮, ²東京薬大・生化学, ³東京女子医大・青山女性医療研, ⁴クリニカタナカ, ⁵YeV, ⁶EBC&M, ⁷東京工業大)
- R09 太陽紫外光に即応した角層ウロカニン酸の異性化応答
○山下裕司, 橋本陽輔, 竹村征樹, 大高泰靖, 坂本一民 (千葉科学大・薬)
- R10 日焼け止めの長期使用が日光角化症を有する被験者の光老化症状に及ぼす影響について
○水野 誠^{1,2}, 国本佳代², 上出三起子², 成 英次¹, 浅野 新¹, 亀山浩一¹, 山本有紀^{2,3}, 古川福実²
(¹コーセー研・基礎研, ²和歌山県立医大・皮, ³和歌山県立医大・光学的美容皮膚)
- R11 敏感肌の皮膚刺激感受性の検討
○中田美奈子¹, 稲田理恵¹, 杉山真理子¹, 武岡永里子¹, 鈴木裕美子¹, 鷺崎久美子²
(¹資生堂, ²東邦大・医・皮)
- R12 安全で魅力的な化粧品の開発に向けたナノ安全科学研究
～ナノシリカとアレルギー抗原の共塗布による免疫影響評価～
○吉岡靖雄^{1,2}, 平井敏郎¹, 高橋秀樹¹, 角田慎一^{2,3}, 東阪和馬^{1,2}, 堤 康央^{1,3}
(¹大阪大院・薬, ²医薬基盤研, ³大阪大・MEIセ)

13:55～15:00 一般研究演題 (IV) 薬剤有用性 5 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)
座長: 秋田浩孝 (藤田保健衛生大), 木曾昭典 (丸善製薬)

- R13 ハムスター脂腺細胞における黄岑由来フラボノイド, baicalin による皮脂産生抑制作用
○秋元賀子¹, 小俣 亮¹, 伊東 晃², 佐藤 隆¹ (¹東京薬大・生化学, ²東京薬大・社会医療研)
- R14 フラボノイド含有植物エキスに見出された体臭成分ジアセチルの抑制作用
○志水弘典, 松井 宏, 久加亜由美, 原 武史 (マンダム・技術開発セ)
- R15 二糖コンドロイチン硫酸による皮膚線維芽細胞の線維関連タンパク遺伝子発現量に対する影響
○北澤和之¹, 加納 聡², 橋本フミ恵¹, 杉林堅次¹, 徳留嘉寛¹ (¹城西大・薬, ²マルホ・京都 R&D セ)
- R16 新規アスコルビン酸誘導体 3-O-グリセリルアスコルビン酸の抗酸化作用
○勝山雄志¹, 中村清香¹, 平 徳久¹, 正木 仁², 吉岡正人¹ (¹成和化成, ²東京工科大・応用生物)
- R17 健常女性における酸化型グルタチオン塗布による肌質改善効果
○渡邊史子, 橋爪恵理香, 神村彩子 (協和発酵バイオ・ヘルスケア商品開発セ)

15:00～15:15 休憩 (15 分)

- 15:15～16:00 特別講演 I 座長：川島 眞（東京女子医大）
「iPS 細胞などの各種幹細胞を用いた皮膚再生医療の現状と展望」
池田志孝（順天堂大）
- 16:00～17:05 一般研究演題（V） 美白 5 題（発表 8 分，質疑 4 分）
座長：船坂陽子（日本医科大），猪股慎二（資生堂）
- R18 抗酸化という観点で見た精製タモギタケ抽出物の色素沈着改善素材としての可能性
○三谷茂樹¹，中西智洋¹，木村千恵子¹，金澤奈奈江¹，長南 律¹，大社勇太¹，鈴木琢也¹，正木 仁²
（¹香栄興業・研究開発，²東京工科大・応用生物）
- R19 ウィザフェリン A は 3 次元表皮モデルでの SCF 誘導色素沈着を c-KIT 活性化の抑制により阻害する
○寺澤周子¹，中島弘明²，庭野隆夫²，深澤勝則²，若林雄希²，芋川玄爾¹
（¹中部大・生物機能開発研，²東京工科大）
- R20 メラノソーム輸送制御による新規美白素材の開発
○田中清隆，河合有香，小島弘之，アルナシリイダマルゴダ（一丸ファルコス・開発）
- R21 Tyrosinase のメラノソーム局在に対する Polymethoxyflavone の阻害作用メカニズム
○吉崎舟洋¹，正木 仁²，橋爪 論¹（¹日油・先端技術研，²東京工科大・応用生物）
- R22 真皮由来 neuregulin 1 (NRG1) によるメラニン生成促進メカニズム
○村上祐子，足立浩章，田中 浩，八代洋一，中田 悟（日本メナード化粧品・総合研）
- 17:05～ 理事長挨拶 川島 眞（東京女子医大）
- 18:00～ 懇親会（コートヤード・マリオット銀座東武ホテル）

2014年6月6日（金） 2日目

- 9:30～10:00 総会
- 10:00～10:15 第 6 回優秀論文賞授賞式・受賞講演
- 10:15～11:05 一般研究演題（VI） 細胞間脂質、物性 4 題（発表 8 分，質疑 4 分）
座長：須賀 康（順天堂大），吉田雅紀（クラシエホームプロダクツ）
- R23 角層細胞間脂質モデルの構造と特性
○箱田優也¹，田中佳祐²，油井研一¹，酒井健一¹，酒井秀樹¹，阿部正彦¹，橋本 悟²，中川公一³，坂本一民⁴（¹東京理科大・理工，²コスモステクニカルセンター，³弘前大院・保健，⁴千葉科学大・薬）
- R24 アトピー性皮膚炎角層細胞間脂質モデルの微細構造解析
○小幡誉子¹，佐野 啓¹，太田 昇²，森脇太郎²，八木直人²，石田賢哉³，内田良一⁴，大貫義則¹，高山幸三¹（¹星薬大，²SPring-8/JASRI，³高砂香料工業，⁴UCSF）
- R25 ダイレクト質量分析によるクリーム及び容器材質の迅速成分検索システムの構築
○島田治男¹，則武佑佳¹，中谷善昌¹，木下一真²，志田保夫³
（¹資生堂・リサーチセ，²バイオクロマト，³山梨大・クリーンエネルギー研究セ）
- R26 天然ミネラルクレイの熱安定性及び化粧品製剤の物性変化に及ぼす作用
○Pedro EribertoBretzke, Clóvis AntonioRodrigues, Ruth Meri Lucinda da Silva（Universidade do Vale do Itajaí, Brazil）
- 11:05～11:55 一般研究演題（VII） 毛髪・毛穴 4 題（発表 8 分，質疑 4 分）
座長：小林美和（産業医科大），前澤大介（癸巳化成）
- R27 毛穴の目立ちに關与する角栓の形成と毛包との關連性
○山口弘毅，広瀬 統，八代洋一，中田 悟（日本メナード化粧品・総合研）
- R28 キメの形態と頬部の毛穴目立ちとの關連性
○藤原信太郎，牛木 勝（クラシエホームプロダクツ・ビューティケア研）

R29 女性の薄毛に対する6-ベンジルアミノプリン(6-BA)の有用性評価

○廣島俊輔, 廣島利江, 青野 恵, 柿澤恭史(ライオン・ビューティケア研)

R30 フェンバレート類縁体の発毛活性

○毛塚智子¹, 藤井誠史郎², 川島一騎¹, 眞鍋泰明², 小澤 明²(¹東海大・工,²東海大・医・皮)

11:55~13:25

昼休み(90分)

『企業展示をご覧ください』

13:25~14:15

一般研究演題(VIII)

経皮吸収

4題(発表8分, 質疑4分)

座長: 高山幸三(星薬大), 打和秀世(カネボウ化粧品)

R31 ヒアルロン酸の油状ナノ分散化S/O技術を利用した経皮吸収促進

○後藤雅宏, 佐藤まりこ, 神谷典穂(九州大院・工)

R32 グリチルレチン酸ステアリルの皮膚移行性にO/W型乳液の内油相が与える影響の人工膜を用いた検討

○坂田 修^{1,2}, 藤井まき子², 小泉直也², 中出正人¹, 亀山浩一¹, 渡辺善照²(¹コーセー研,²昭和薬大)

R33 画像解析による物質の皮膚中濃度評価法の確立

○喜島小翔¹, 正木涼介¹, Wesam R.Kadhum¹, 藤堂浩明¹, 畑中朋美², 杉林堅次¹
(¹城西大・薬,²東海大・創造科学技術研医)

R34 化粧品基剤の皮内動態解析を可能とするマイクロドーズ試験法の確立

○菊池啓介¹, 中野恵介², 藤堂浩明¹, 中出正人², 濱邊好美³, 松井隆雄³, 亀山浩一², 杉林堅次¹
(¹城西大・薬,²コーセー・基礎研究,³加速器分析研究所)

14:15~15:00

特別講演II

座長: 藤原延規(マンダム)

「信頼の心理学」

中谷内一也(同志社大)

15:00~15:15

休憩(15分)

15:15~17:10

シンポジウム 「化粧品の新なる安心・信頼を追求するための新しい視点」

座長: 伊藤明子(新潟大), 世喜利彦(上武大), 川田裕三(花王)

15:15~

1. はじめに

15:20~

2. 「動物実験の基本的考え方と関連法規等について」

秦野伸二(東海大)

15:45~

3. 「化粧品における最近の健康被害例と課題」

松永佳世子(藤田保健衛生大)

16:10~

4. 「化粧品の安全性評価における*in silico*の活用」

上月裕一(資生堂)

16:35~

5. 「最近の薬事行政について」

井上隆弘(厚生労働省)

17:00~

6. まとめ

17:10~

閉会挨拶

次期会頭

藤井まき子(昭和薬大)

※ 登壇者に変更がありました。

R12 吉岡 靖雄 → 角田 慎一

R23 箱田 優也 → 坂本 一民